



見る

見るだけで、簡単に情報共有。

基本的な使い方は、自分が担当している患者、プロジェクト等をただ見るだけ。支援チームの発言や資料など、まとめて見る事が出来ます。

時系列だから分かりやすい。

支援チームの記事や資料は、時系列で分かりやすく表示。患者のケア状況についても、前後の流れが把握しやすくなっています。

他のメンバーのやり取りもわかる。

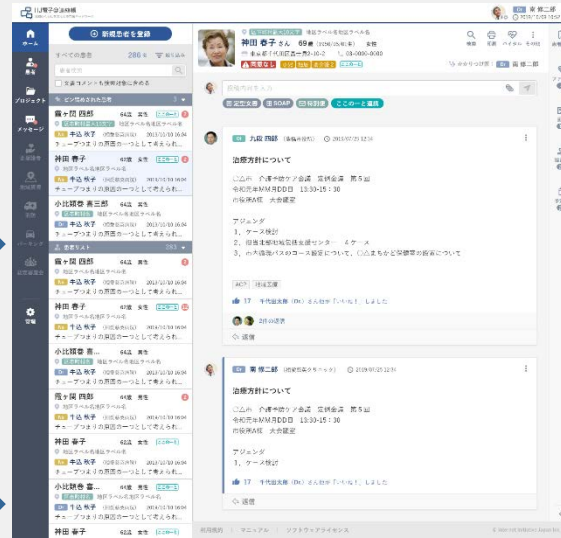
支援チームの医師や看護師、薬剤師、ケアマネジャー等の支援チーム間で行われているやり取りが一目でわかります。

使い慣れている機器で利用できる。

パソコン（Windows, Mac）、タブレットなどのWEBブラウザから利用できます。もちろん、セキュリティは医療情報が扱えるぐらい万全。



IIJ電子@連絡帳サービス



【3つの連携機能】



患者

個人情報取り扱い可能

プロジェクト

施設・参加者間情報共有

メッセージ

参加者間の個別連絡・資料共有

書き込む

好きなときに、好きな場所で。

連絡したい事や共有したい資料がある場合には、普段お使いのパソコンやスマートフォンで伝言メモを残す感覚で書き込んでください。他のメンバーが都合の良いときにすぐ確認できます。

メール感覚で資料を登録。

診療情報や送り、FAXなど支援チーム間で共有したい資料は、写真にとって登録するだけでOKです。メールを送る手軽さで共有できます。

メンバーしか見ないから安心。

あなたの記事は、支援チームのメンバーしか見る事ができません。メンバー外のサービス提供者も見ることができません。特別便を利用すればメンバー内の特定の人とだけのやりがができます。

項目を選ぶだけで様式ができる。

介護事業に必要な主治医意見書、訪問看護指示書・報告書等を登録できます。書類フォーマットが異なる場合はオプションでカスタマイズ可能です。